

ロゴマークの選定について

これまでの委員会での検討経緯

【第1回検討委員会資料再掲】

- ピクトグラムについてはご当地のデザインを有するものが多い。
- 北海道においては、地域住民、来訪者双方にとって、わかりやすく、自転車を想起させ＋北海道を想起させることが重要。
- ピクトグラムについては、今後、モデルルートでの意見交換を通じて決定したいと考えているところであり、合意形成にあたり留意すべき事項についてご審議頂きたい。

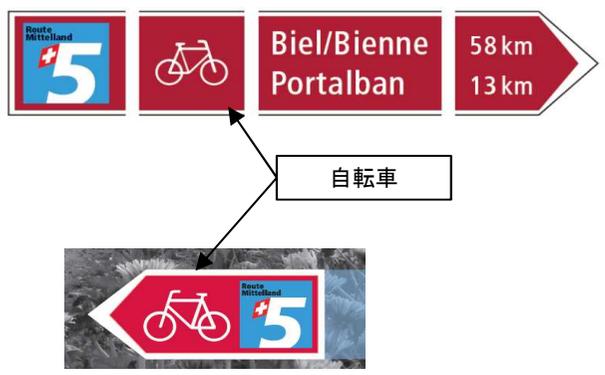
【ピクトグラムのデザインの事例】

【国内事例(奈良県)】



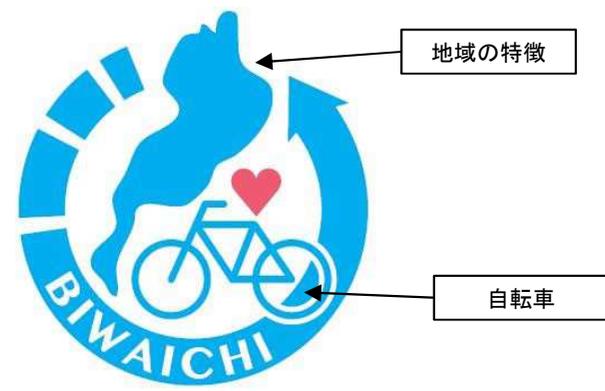
資料: 奈良県自転車利用ネットワークづくりガイドライン

【海外事例(スイス)】



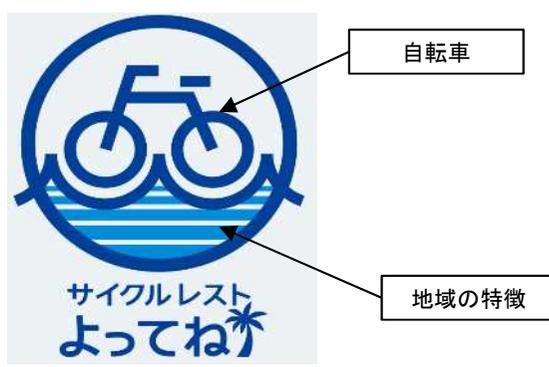
資料: Manual on Cycle Route Planning

【国内事例(滋賀県)】



資料: 滋賀県 県政e新聞 報道資料

【国内事例(宮崎県)】



資料: 日南海岸サイクルラインHP

【北海道(ピクトグラムデザイン)】(案)

- ➡ 自転車を想起させる＋北海道を想起させるデザインとしたい
- ➡ 遠くからでもわかるデザインとしたい

これまでの委員会での検討経緯

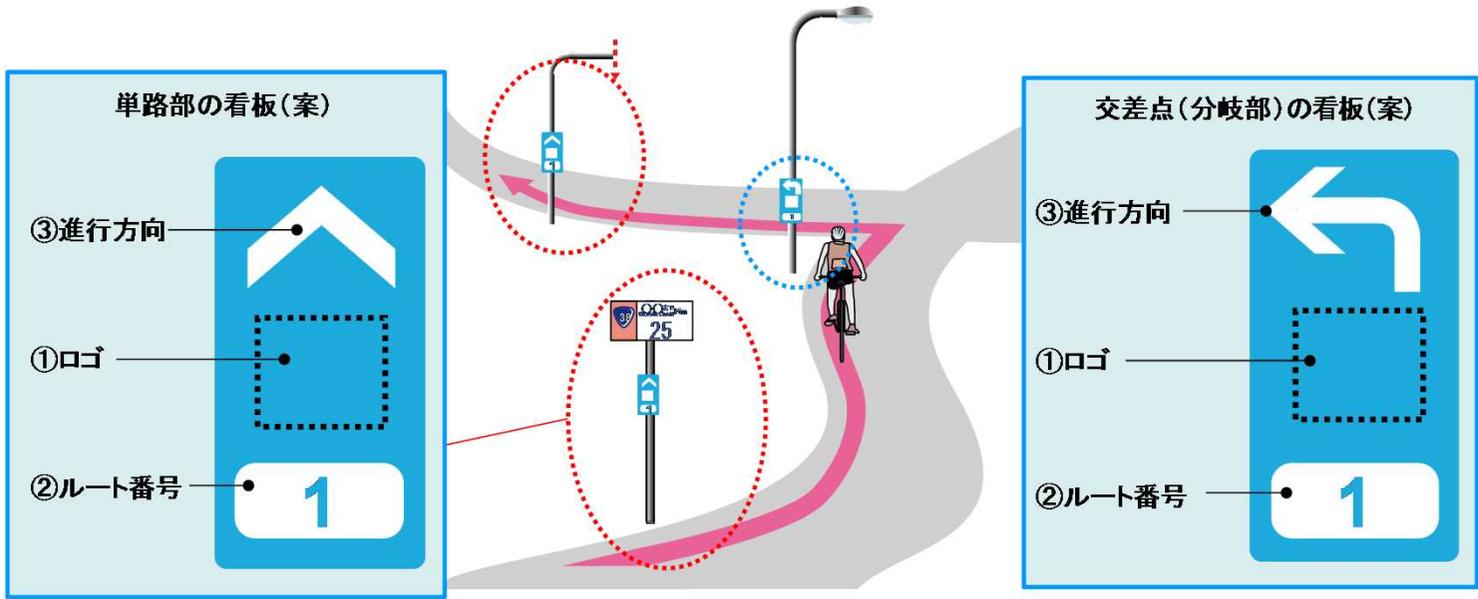
【第2・3回検討委員会資料再掲】

【第2回検討委員会資料より】

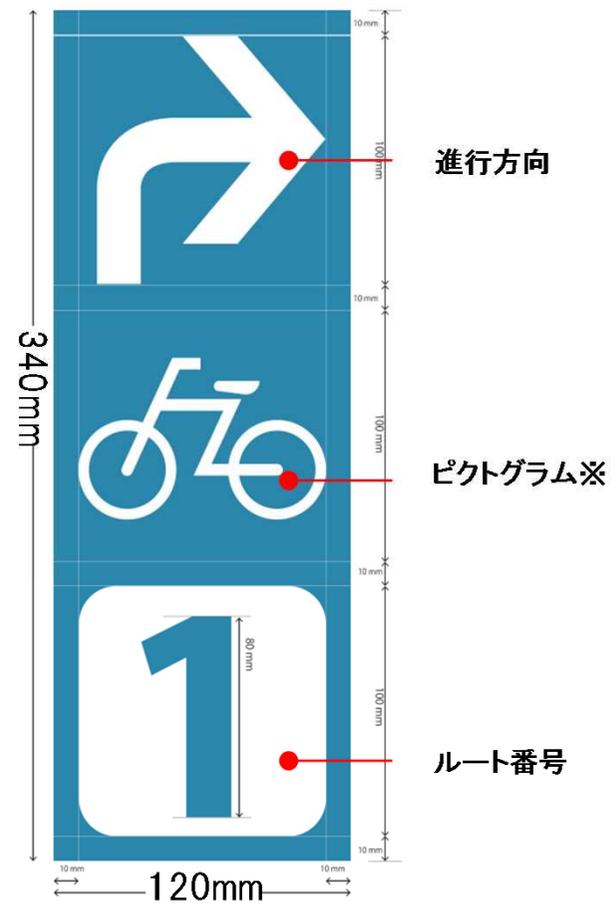
- 案内看板には、①自転車の案内である事を表すロゴ、②ルート番号、及び③ルートの進行方向を表示することを基本とし、現地状態により必要な情報を追加
- ロゴのデザインや、ルート番号について設定する必要

【第3回検討委員会資料より】

- ロゴデザインが確定するまでの暫定としてJIS規格のピクトグラムを採用(JISZ8210)



【案内看板の構成】



統一のロゴマークを策定する目的

○ 北海道内での統一のロゴマークを策定し、北海道のサイクルツーリズム推進の取り組みを国内外へ広く周知するとともに、ルートのご案内や認知度の向上に役立てていきたい。

＜統一のロゴマークを策定する目的＞

- ① 北海道のサイクルツーリズム推進の取り組みを国内外のサイクリストへ広く周知し、**認知度を向上**させるため
→ WEB、ポスター、サイクルマップ等への掲載
- ② ルート案内やサイクルステーション(サイクリストの休憩場所)等に表示し、**基幹ルートの周知**のため
→ 基幹ルートの案内(看板及び路面表示)、休憩場所での“のぼり”等へ表示
- ③ 北海道のサイクルツーリズムを推進する**関係者の一体感を醸成**され、取り組みの更なる向上が期待できるため



ルート案内看板
出典:奈良県自転車利用ネットワーク
づくりガイドライン



ビワイチサイクルサポートステーションのぼり
出典:滋賀県HP

3. ロゴマークの選定プロセス(案)

○ ロゴマークは、検討委員会事務局が候補案を作成し、一般投票により最終案を決定したい。

○ 候補案を広く一般の方々に問いかけることにより、サイクリストのみならず自転車に乗らない方々への関心も高まることから、一般投票を行い最終案を決定することとしたい

※選定を早期に行うため、候補案はこれまでの検討委員会の議論を踏まえて、事務局で策定

北海道 150 年ロゴマーク道民投票について

1 趣旨
北海道 150 年ロゴマークの選定に関し、道民等の意向を確認するとともに、簡易に参加できる方式で実施することにより、北海道 150 年事業への関心を高めることを狙いとして、インターネット上で実施。

2 実施期間
12月1日(木) 0時~12月15日(木) 17時まで

3 投票の結果
(1) 投票総数
5,740票

北海道150年ロゴマーク道民投票について
出典：北海道HP

(2) 投票結果

	 その先の、道へ。北海道 Hokkaido, Expanding Horizons.	 その先の、道へ。北海道 Hokkaido, Expanding Horizons.	 その先の、道へ。北海道 Hokkaido, Expanding Horizons.
ロゴマーク			
作品コンセプト	北海道の地形の中に150年の歴史を意味する数字を組み入れたデザインです。抜き文字で残された各矩形は道内各地の個性豊かな恵みの大地を意味します。	北海道の未来を感じさせる明るいロゴにしたいと思って作りました。	北海道の新たな一歩を踏み出すためのロゴマークには、縄文やアイヌなど、先人から受け継いだ文化を次世代へと継承する役割を込めるべきとの考えから、アイヌ文様をデザインモチーフに取り入れ「150」を表しました。「モレウ(渦巻き)」には「力、パワー」という意味があり、北海道開拓に尽力をあげた人々と、北海道の未来を作っていく私達の、過去と未来の2つの力が北海道を築き上げるという意味を込めています。
得票数	916票	3,864票	960票

ロゴマークの候補案について

○ ロゴマークは、サイクルツーリズム北海道 (Cycle Tourism Hokkaido) の「C」と「T」と「H」をかたどった自転車の形を基本とし、枠の形 (2種類)、背景の有無 (2種類)、色彩 (2種類) の8通りの複数案を提案したい。緑色はパンフレット等へのロゴマーク掲載の際に使用。

色	背景 (山・丘陵地) あり		背景 (山・丘陵地) なし	
	枠 = 北海道	枠 = 四角	枠 = 北海道	枠 = 四角
青	①	②	③	④
緑	⑤	⑥	⑦	⑧

色彩は北海道らしさを表すことを念頭に北海道、および北海道開発局のロゴマークに用いられている青もしくは緑のいずれかとする
 青色は現在案内看板で使用している (10B5/10)
 緑色は CUD※1 推奨配色



北海道のロゴマーク



北海道開発局のロゴマーク

※1 CUD・・・カラーユニバーサルデザイン、色の見え方が一般と異なる (先天的な色覚異常、白内障、緑内障など) 人にも情報がきちんと伝わるよう、色使いに配慮したユニバーサルデザイン

ロゴマークの複数案について

案内看板での表示イメージ

- 案内看板として使用する際の背景色を看板の背景色(青)に合わせる。

背景あり
枠=北海道



背景あり
枠=四角



背景なし
枠=北海道



背景なし
枠=四角



ロゴマーク決定までのスケジュール(参考)

ロゴマーク決定までのスケジュール

H30.12 第5回 北海道サイクルツーリズム検討委員会

⇒ ロゴマーク案の設定プロセス(案)の承認

⇒ ロゴマーク複数案の承認



H31.1~H31.2(1ヶ月) 複数案の一般投票



次回 北海道サイクルツーリズム検討委員会

⇒ ロゴマーク最終案の決定